事業所名　cocoiro新中野ルーム

支援プログラム

作成日　２０２６ 年 1月 31日

法人（事業所）理念		ひとりひとりに、のびやかな発達支援を。											
支援方針		集団支援や個別支援、両方の活動を通して園や学校でのルールを学び、社会の中でも柔軟に対応できる力を身につけていきます。ひとりひとりの“できた”を増やし、自信が持てるようにしていきます。											
営業時間		10 時 0 分から 19 時 0 分まで（土）は9時00分～18時00分								送迎実施の有無		あり なし	児童発達支援はなし
		支　援　内　容											
本人支援	健康・生活	自宅や園・学校での様子とcocoiroでの様子を観察、共有しながら、利用児の健康状態を把握します。健康不良の訴えのない利用児においては、「いつもと違う様子」に支援者が気づき、検温など健康チェックを行っていきます。いつもと違う様子：（身体が熱い・拘りが強い・怒りの沸点が低い・ボーッとしている・自傷・他傷が多い・常同行動が多いなど） また、自宅以外の居場所としての役割を担っていきます。											
	運動・感覚	走る、跳ぶ、登る、など大きな身体の動きを行う粗大運動、手や指先、腕や足の細かい身体の動きを行う微細運動を、戸外も活用しながら利用児一人ひとりの獲得スキルに合わせて行っていきます。 粗大運動：（平均台・バランスボール・キャッチボール・マット運動など）　微細運動：（運筆・食具練習・工作・ボタン付け・ボードゲーム・感覚遊びなど）											
	認知・行動	TEACCHによる構造化を行い、支援プログラムの見通しを利用児が視覚的に認知できるよう促していきます。主（プログラム進行役）の支援員を軸に園や学校生活を意識した行動を促していきます。 年齢や学年に限らず、障害の特性や認知に合わせた活動プログラムを行っていきます。											
	言語 コミュニケーション	言語でコミュニケーションが取れる利用児については、自分の気持ちや行いたいことを「言葉」で伝えられるよう促していきます。言語以外のコミュニケーション方法の利用児については、PECS（絵カード交換式コミュニケーション）を活用し、円滑なコミュニケーションが取れるよう促していきます。年齢や学年に限らず、一緒に活動する事で言語コミュニケーションの場を広げていきます。											
	人間関係 社会性	小集団活動の中での自分の役割、ルール、支援プログラムの流れなど、他児や支援者とコミュニケーションを取りながら習得を促していきます。 社会資源を活用し、交通ルールや公共のマナーを学ぶ機会を作り、自然と身に付けられるようにしていきます。											
家族支援		支援後にフィードバックを行い、家庭でできることの情報共有を行います。また、保護者の思いや悩みに寄り添い、必要に応じて面談の機会を設けます。								移行支援		入学や転校時などの新しい環境で、利用児が安心して過ごせるように支援方法や各資料の情報共有を行います。	
地域支援・地域連携		利用児が通園、通学する園や学校への訪問、見学を行い情報共有を行います。 地域イベントや行事がある際は活動としてプログラムに取り入れ参加していきます。 相談支援専門員、スクールソーシャルワーカーなど、各関係機関との情報共有を行います。								職員の質の向上		本社研修・LITALICO研修動画・有料動画研修（LDセンター）・中野区研修	
主な行事等		ペアレントトレーニング、社会資源を使った外出をします。（公園・買い物・複合施設など）　季節のお楽しみイベントも行っていきます。（ハロウィン・クリスマスなど） 造形の講師を招き、不定期に製作活動を行います。											